

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	○
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	311広域交流拠点の整備	担当課室長	横山 吉治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度における実施事業は無いため、評価無し	③平成29年度に取組む改革・改善内容	平成28年度の検討業務を受け、検討結果の情報共有を図るとともに、庁内の横断的な検討体制の構築も含め、引き続き土地活用に向けた検討業務に取り組む。
②①に基づく取組み結果	上記理由のため、①に基づく取組みは無し		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	新鎌ヶ谷駅周辺地区	意図(対象をどうするのか)	地区の回遊性の確保や利便性の向上を図る
②事務事業の概要	新鎌ヶ谷駅周辺地区が、魅力と活気にあふれる中心市街地として形成されるよう、土地利用の推進や通路の整備等を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	東京10号線延伸新線の事業化の検討中止や、新京成線連続立体交差事業の進捗に伴い、新鎌ヶ谷駅周辺地区における土地利用の形態に大きな変化が見込まれる時期であるため、上記事業への取組みが非常に重要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	「新鎌ヶ谷駅周辺地区土地活用検討業務委託」により、新鎌ヶ谷駅南側に立地する東京10号線延伸新線跡地について、庁内及び一般企業の意向調査を経て、土地活用の可能性を検討し、土地活用イメージとして取りまとめた。					
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i 新鎌ヶ谷駅乗降客数	95,703	97,619	調査中	人/日	業務取得
	ii 新鎌ヶ谷地区事業所数	234	236	245	件	業務取得
	iii 新鎌ヶ谷地区市街地整備促進事業進捗率	49	49	51	%	業務取得
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)	0	8,100	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)	0	0	8,100	新鎌ヶ谷駅周辺地区土地活用検討業務委託	0	
県支出金(千円)	0	0			0	
市債その他(千円)	0	0			0	
一般財源(千円)	0	8,100			0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	東京10号線跡地利用の活用方法について、市の役割についての検討、また駅周辺の回遊性を高めるために鉄道事業者等との調整が引き続き必要である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	鎌ヶ谷市の顔となる同地区については、市街地形成の更なる促進が必要である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	調査委託	平成28年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	土地活用検討業務委託を発注し、予定どおり完了した。	8,600	8,600	当初	8,600	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0	現年分	8,100
				流用・充当	0		
④未完了・非着手の理由		平成29年度への繰越額(単位:千円) 0					